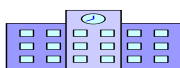


学校だより第2号 平成30年5月1日(火)

学校教育目標：自ら学び、心豊かでたくましい児童の育成



# きざき



— 児童が目を輝かせて、  
明日の授業を楽しみにする学校 —

TEL048-831-2281

URL <http://kizaki-e.saitama-city.ed.jp/>

E-Mail [kizaki-e@saitama-city.ed.jp](mailto:kizaki-e@saitama-city.ed.jp)



さいたま市立木崎小学校

児童数 847名



## 歴史と伝統の木崎小学校

校長 豊島 登

校内を巡回していると、1年生の女の子が私のところによってきて、「校長先生、学校って楽しいですね」と言いました。お互いに目を合わせて、思わず笑みがこぼれました。「ぼく、木崎小だあい好き」と言ってくれた男の子もいま

ました。母校への親しみや愛情をいつまでも持ち続けてほしいです。

5月21日は、木崎小学校創立から144回目となる開校記念日です。開校記念日は休日ではなくなっていますが、この大切な意味をしっかりと引き継いでいきたいと思います。私なりに調べてみたことを、2つのポイントに絞って報告します。

1つめのポイントは、今も木崎小学校のおとなりにある長覚院との関係です。明治7年3月2日、この長覚院に、領家村学校が開設されました。同年5月21日、長覚院を仮校舎として領家学校の開校式が挙行されました。この日が開校記念日となったわけです。当時、先生は1人。児童数は、48人でした。2年後には76人に増え、先生も2人になり、初めて教室の2つある校舎が建てられました。今の長覚院とプールのある場所です。以後、木崎村立木崎尋常小学校、浦和市木崎国民学校、浦和市立木崎小学校と名称が変わり、現在のさいたま市立木崎小学校に至っています。現在の校舎は、2期の工事を経て昭和56年に落成したものです。

2つめのポイントは、木崎小から分かれた学校がたくさんあるということです。まず、明治44年に本太小、以後、昭和8年に仲本小、昭和22年に北浦和小、昭和27年に上木崎小、昭和34年に針ヶ谷小、昭和44年に大東小、昭和50年に道祖土小が分離独立しました。実に7校もの小学校が木崎小から生まれています。この周辺のすべての小学校の母校と言えます。

144年という長い間には、関東大震災、村の合併や市への移行、太平洋戦争、戦後の復興や高度成長など、大きな出来事がたくさんありました。そうした間も、ずっとこの地域子どもたちを守り育ててくれました。改めて感謝の気持ちを胸に、新たな歴史を刻む一員として自覚を高めてほしいと思います。

ちなみに、現在の正門には、明治期を偲ばせる鬼瓦が埋め込まれています。同じものがさいたま市立博物館で開催中の企画展「さいたま近代教育の幕開け」に展示されています。また、木崎小学校の校歌は、昭和3年に制定され、市内で最も古くから歌い継がれているものとなっています。